

令和5年度
(2023年度)

岡山県立大学大学院
保健福祉学研究科
(博士前期課程)

学生募集要項

(海外指定校特別入学試験)



岡山県立大学大学院保健福祉学研究科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

保健福祉学研究科は、保健・医療・福祉分野の専門職としての深い知識と卓越した能力を身に付け、各分野の課題を提起し、それを解決し得る研究能力を持つとともに、広く健康社会の発展に貢献できる研究者あるいは高度専門職業人を育成します。

このため各専攻ではアドミッション・ポリシーに示す入試を実施し、広く国内外からの学生を選抜しています。

看護学専攻（博士前期課程）の入学者受入れの方針

看護学専攻（博士前期課程）は、学際的で高い看護の専門的知識と基礎的な研究能力を活かして、保健医療福祉分野における課題を解決し、国内外の看護における実践・教育・研究の場で社会のニーズに応え、貢献できる人材の育成を目指しています。また、保健師養成課程を有しています。

したがって、看護学分野の広範な知識・思考力・判断力や豊かな人間性と倫理観を持ち、主体的に看護学分野の研究に取り組む意欲ならびに看護を科学的、論理的に考究する態度を身に付け、海外や地域で学ぶことにより、英語を含む十分なコミュニケーション力と看護実践力を修得した人を求めます。

本専攻では、外国語（英語）の筆記試験、看護学分野の専門知識と思考力・判断力を評価する口述試験による学力検査、人物、看護実践力、ならびに研究意欲を評価する面接試験を行います。

栄養学専攻（博士前期課程）の入学者受入れの方針

栄養学専攻（博士前期課程）は、食品の機能や臨床栄養などの人の健康に関連した栄養学的な諸問題を解決できる優れた専門性を備えるとともに、豊かな創造力と問題解決能力を身に付け、社会のニーズに応えることができる人材の育成を目指しています。

したがって、栄養学分野の広範な知識・思考力・判断力や豊かな人間性と倫理観を持ち、主体的に栄養学分野の研究に取り組む意欲ならびに栄養を科学的、倫理的に考究する態度を身に付け、海外や地域で学ぶことにより、英語を含む十分なコミュニケーション力を修得した人を求めます。

本専攻では、外国語（英語）の筆記試験、栄養学分野の専門知識と思考力・判断力を評価する口述試験による学力検査、人物ならびに研究意欲を評価する面接試験を行います。特別入試（社会人、外国人留学生）では、外国語（英語）の筆記試験と人物ならびに研究意欲を評価する面接試験を行います。

保健福祉学専攻（博士前期課程）の入学者受入れの方針

保健福祉学専攻（博士前期課程）は、保健福祉学の理論と技術を修得する組織的な教育研究を行い、保健福祉に関連した臨床や政策の諸問題を解決できる優れた専門性を備えた人材の育成を目指しています。

したがって、保健福祉学分野の広範な知識・思考力・判断力や豊かな人間性と倫理観を持ち、主体的に保健福祉学分野の研究に取り組む意欲ならびに保健福祉を科学的、倫理的に考究する態度を身に付け、海外や地域で学ぶことにより、英語を含む十分なコミュニケーション力を修得した人を求めます。

本専攻では、外国語（英語）の筆記試験、保健福祉学分野の専門知識と思考力・判断力を評価する口述試験による学力検査、人物ならびに研究意欲を評価する面接試験を行います。特別入試（社会人）では、保健福祉学分野の専門知識と思考力・判断力を評価する口述試験による学力検査、人物ならびに研究意欲を評価する面接試験を行います。特別入試（外国人留学生）では、外国語（英語）の筆記試験と、人物ならびに研究意欲を評価する面接試験を行います。

令和5（2023）年度岡山県立大学大学院保健福祉学研究科（博士前期課程）学生募集要項（海外指定校特別入学試験）

1 募集人員

専攻	募集人員	備考
看護学専攻	若干人	左記の募集人員は、各専攻の募集人員に含まれる。（各専攻の募集人員は、一般入試、特別入試（社会人）及び特別入試（外国人留学生（海外指定校特別入学試験を含む。））の合計人数で、看護学専攻7人、栄養学専攻6人、保健福祉学専攻7人）
栄養学専攻	若干人	
保健福祉学専攻	若干人	

2 出願資格

次の(1)から(6)までをすべて満たす者。

- (1) 大学間交流協定校（※別紙のとおり）の学長が、責任をもって推薦できること。
- (2) 学士を取得した者、または令和5(2023)年3月末までに取得する見込みの者。
- (3) 学士の取得に当たり、優秀な成績を修めていること。
- (4) 研究テーマに係る専門知識が豊富で、勉学意欲が旺盛なこと。
- (5) 研究テーマに係る研究活動を、英語または日本語で円滑に行うことができること。
- (6) N2レベル以上に相当する日本語能力を有することが望ましい。

3 入学日

令和5(2023)年4月1日(土)

4 出願手続

(1) 出願方法

- ・ 所定の志願票及び必要書類を、推薦大学を經由して、国際郵便等で提出すること。電子メールによる出願は認めない。
- ・ 志願票及び必要書類は、日本語または英語で記載すること。

(2) 出願期間

令和4(2022)年8月1日(月)から令和4(2022)年8月5日(金)

(3) 出願先

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地
岡山県立大学事務局教学課入試班

5 出願書類等

- (1) 志願票（様式1）
- (2) 卒業（見込）証明書（厳封のこと）
- (3) 成績証明書（厳封のこと）
- (4) 研究志望調書（様式2）
- (5) 学長及び指導教官の推薦書（厳封のこと）

- (6) 受験票及び写真（様式3及び4）
- (7) その他（日本語能力に係る証明書類）

6 専攻長及び指導希望教員との面談

出願に先がけ、令和4(2022)年7月25日(月)までに、推薦大学と岡山県立大学を、インターネットを利用したテレビ電話や Web 会議システム等で結び、入学志願者は、入学を希望する研究科の専攻長及び指導を希望する教員との間で、英語及び日本語による「遠隔面談」を、必ず複数回行うこと。ただし、出願書類の中で、(1)、(4)、(5)、(6)については、そのコピーが、第1回目の遠隔面談の2週間前までに本学に到着していること。遠隔面談の日程調整は、令和4(2022)年7月11日(月)までに、事務局を經由して電子メールで行うこと。

7 試験

(1) 試験日

令和4（2022）年8月24日（水）

(2) 選抜方法

入学者の選抜は、成績証明書及び研究志望調書の審査並びに学力検査及び面接の結果を総合して行う。学力検査及び面接は、推薦大学と岡山県立大学を、インターネットを利用したテレビ電話やWeb会議システム等で結び、これを用いた「遠隔面接試験」として実施する。

専攻	科目名等	配点	配点合計
看護学専攻	学力検査(外国語)	100	250
	学力検査(専門)	50	
	面接	100	
栄養学専攻	学力検査(外国語)	100	150
	面接	50	
保健福祉学専攻	学力検査(外国語)	100	200
	面接	100	

(注) 成績証明書及び研究志願調書の審査は面接評価に含まれる。

8 合格者発表

(1) 通知期日

令和4（2022）年9月2日（金）

(2) 通知方法

- ・推薦大学を經由して、結果を志願者に通知する。
- ・入学許可者に対しては、推薦大学を經由して、入学許可証及び入学手続きに関する書類を送付する。

9 入学手続

(1) 手続期限

令和4（2022）年9月14日（水）（必着）

(2) 手続方法

- ・手続に必要な書類を、推薦大学を經由して、国際郵便等により提出すること。
- ・期限までに手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものととして取り扱う。

10 初年度納付金

(1) 入学料

金額 282,000円

(注)入学料の改定があった場合は、改定後の入学料が適用されます。

(2) 授業料

- ・金額 535,800円(年額)
- ・納付方法 入学後、前期(7月末)、後期(11月末)の2回に分けて納付していただきます。

(注)授業料の改定があった場合は、改定後の授業料が適用されます。

(3) 後援会費

金額 44,000円

(4) 同窓会費

金額 10,000円

11 その他

- (1) 入学検定料は無料とする。
- (2) 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科博士前期課程を修了した者は、修士の学位が授与される。その際、学位記に付記される分野の名称は、次のとおりである。
看護学専攻「看護学」 栄養学専攻「栄養学」 保健福祉学専攻「保健福祉学」
- (3) 日本での留学に必要な在留資格取得のための手続を、岡山県立大学の協力のもとで、入学時まで完了させること。
- (4) 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が確認された場合には、入学を取り消すことがある。

12 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

岡山県立大学大学院保健福祉学研究科（博士前期課程）案内

少子・高齢社会において国民の保健・医療・福祉の発展に大きな期待が寄せられています。このような状況を担うため、平成9年4月に我が国で初めて保健福祉学・看護学・栄養学を統合した本研究科が設置されました。

本研究科は4年制大学などを卒業し、看護師、保健師、助産師、管理栄養士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士などの資格を持った人、及び保健福祉の分野に興味を持っている他の広範な分野からも人材を受け入れ、専門職としてのより高度な専門的知識・技術を向上させるための教育・研究を行い、「問題解決能力」を持つ優れた研究者、教育者、指導者、管理者、実践者等の育成を目的としています。本大学院のカリキュラムは、大学院生がそれぞれの専門に応じて、所属する各専攻内での講義、演習、セミナー等の学修や研究を通じて専門性を深めるのみならず、3専攻共通の講義・演習や他専攻の科目履修を通して専攻間の交流を図ることにより、幅広い知識と視点から問題解決に当たれるように組まれています。

I 看護学専攻の概要	5 頁
II 栄養学専攻の概要	8 頁
III 保健福祉学専攻の概要	11 頁

I 看護学専攻の概要

わが国の急速な少子・高齢化の進展、医療技術の進歩、国際化の進展、人々の価値観の多様化などにより、保健医療・福祉サービスの再検討が迫られています。このような社会的ニーズに応えるために、看護実践・教育の分野で、基礎的な研究能力と学際的知識を持ち、問題解決をしていくための理論、援助技術、システムを開発していく能力のある人材の育成が求められています。看護学専攻では次の3専門分野において、看護学の再構築と実践活動を指導しうる人材を育成することを目的とするとともに、広域看護学講座では保健師国家試験受験資格に必須の公衆衛生看護学を主軸にした科目を開講し、高度な実践力を有するプロフェッショナルとしての保健師を養成することを目的として教育・研究を行います。

1 各講座の概要

(1) 基礎看護学講座

本講座は多様な看護実践の根幹をなす看護理論とその表現技術としてのヒューマンケアを教育・研究の対象とします。したがって、看護を科学的、論理的に発展させていくための基盤となる法則性を探究するとともに、看護実践を支えるエビデンスの確立を志向して様々な方面から教育・研究を行います。

(2) 発達看護学講座

本講座は、人々の生涯を通じた健康を支援する看護領域における実践・研究・教育能力を兼ね備えたリーダーの育成を目指します。

母性看護学の領域では、専門的な母性看護の構築を目指して、理論と実践の両面から女性とその家族の看護の方法論とその実践を支えるシステムについて探究します。

小児看護学の領域では、専門的な小児看護の構築を目指して、理論と実践の両面から小児とその家族の看護の方法論とその実践を支えるシステムについて探究します。

成人看護学の領域では、特に慢性疾患看護、がん・循環器疾患看護、周術期分野におけるケアシステムの構築などに関して、理論と実践の両面から学際的に探究し教育・研究を行います。

老年看護学の領域では、専門的な老年看護の構築を目指して、理論と実践の両面から高齢者とその家族の看護の方法論とその実践を支えるシステムについて探究します。

(3) 広域看護学講座

本講座は、地域看護学（公衆衛生看護学、在宅看護学）、精神保健看護学の領域での実践と研究においてリーダーシップが発揮できる人材の育成を目指します。

地域看護学の領域では、公衆衛生看護学、在宅看護学の領域における、健康問題に対応する新しいケアの方法・評価及びシステムを探究します。さらに、保健師国家試験受験資格取得のためには、公衆衛生看護学・疫学・保健統計学・保健医療福祉行政論等について学修し、理論をふまえた実践力や政策提言能力を涵養します。

精神保健看護学の領域では、精神障害者ケアなどに関して、理論と実践の両面から学際的に探究し教育・研究を行います。

2 各講座の研究内容等

令和5年度予定

講座	担当教員	研究又は講義内容
基礎看護学講座	荻野哲也 教授	1 医療従事者が知っておきたい生命科学 2 看護実践における生体の変化・応答の解析 3 酸化ストレスによる細胞組織の機能修飾
	森本美智子 教授	1 輸入・新興感染症に対する感染防護具の臨床現場のガイドライン策定研究 2 院内感染に対する感染看護に関する研究（環境整備など） 3 看護ケアに関するシソの抗菌性およびリラックス効果の開発研究
	関根紳太郎 教授	1 グローバル社会の中で必要な4つのコミュニケーション能力 (communicate, compete, collaborate, & contribute) 2 ヒューマンケアに必要なコミュニケーション能力
	佐藤美恵 准教授	看護基礎教育に関する研究
	佐々木新介 准教授	1 看護援助・看護技術の科学的根拠に関する研究 2 生体情報を可視化する計測方法の開発 3 新しい看護援助用具の開発
	*山田佐登美 特任教授	看護管理
発達看護学講座	住吉和子 教授	1 糖尿病患者のケアに関する研究 2 患者教育に関する研究
	岡崎愉加 准教授	1 思春期保健に関する研究 2 子育て支援に関する研究 3 女性のライフサイクル各期の課題に関する研究 4 助産学教育に関する研究
	名越恵美 准教授	1 がん・心不全などの慢性疾患患者・家族に対する治療期・緩和期の意志決定支援に関する研究 2 看護師の職業的アイデンティティと組織開発に関する研究 3 高齢者・介護者等の急変時対応に関する研究
	實金栄 准教授	1 看護実践における倫理的課題に関する研究 2 高齢者のエンドオブライフケアに関する研究 3 高齢者の健康寿命の延伸に関する研究

講座	担当教員	研究又は講義内容
広域看護学講座	森永裕美子 教 授	1 父親研究から児童虐待防止に向けたアセスメントガイドの開発 2 保健師の現任教育、人材育成に関する研究 3 災害時公衆衛生活動、被災者支援に関する研究 4 地域組織のエンパワメントやプロボノに関する研究
	井上幸子 准 教 授	1 精神疾患や発達障害を有する人の支援、および支援者の支援に関する研究 2 子ども・労働者・地域住民などの心の健康に関する疫学研究 3 子どもを対象とした精神保健教育に関する研究
	*矢嶋裕樹 准 教 授	1 集団の健康及び疾病の要因を疫学的に分析するための理念・思考・技術の理解 2 公衆衛生領域での問題発見と分析・解決するための疫学の応用

- (注) 1 担当教員欄中*印は非常勤講師です。
 2 非常勤講師の研究又は講義の内容欄は講義内容を記載しています。

II 栄養学専攻の概要

近年急速に問題となってきた肥満、糖尿病、脂質異常症をはじめとする生活習慣病の予防と改善を目指し、地域や職場における疫学調査や食生活との関連の解析、機能性食品の分析・開発を行います。また、生化学や分子生物学の手法を導入した方法論の確立と、それを応用した食や健康に関連する課題解決を目指します。本専攻では基礎栄養学講座、食品栄養学講座の2講座で、これらの課題を中心にしてそれぞれの専門分野における教育・研究を行います。

1 各講座の概要

(1) 基礎栄養学講座

栄養、すなわち食品の摂取から始まる一連の生命現象を遺伝子、生体分子、個体、集団などのレベルごとに理解し、さらに未知なる理論を展開して発展させる力を養うための教育・研究を行います。本講座では、生化学、分子生物学、並びに細胞生物学分野の最先端技術を用いることにより、脂質代謝やタンパク質の代謝により生成される生理活性物質について新規の生理機能を発見し、炎症性疾患、動脈硬化症、老化による脳機能低下などとの関連性を解明していきます。また、得られた成果をアレルギー症状の軽減や、癌や認知症を含む生活習慣病における栄養管理に活かすための、マネジメントツールの開発を含めた応用研究も行っています。このような教育・研究を行うことにより、栄養学の基礎と臨床を結ぶことができる指導的立場の管理栄養士、並びに栄養学分野の教育・研究機関にて活躍できる研究者の育成を目指します。

(2) 食品栄養学講座

近年、特定保健用食品や機能性表示食品などの機能性食品に関する法律の制定や、食中毒をはじめとする食の安全性に関する社会的問題など、食品の安全性確保と有効性の情報について消費者や生産者の関心が高まっています。このような社会的背景から、栄養学を基盤とした天然物化学、食品科学、分子遺伝学的アプローチにより、新規機能性食品成分の発見や新たな機能性食品素材の開拓、さらに食中毒の原因解明や予防に基づく食品の安全性の評価方法を開発し、健康増進と疾病予防を目標とした安全かつ高機能を有する食品素材の探求を志向した教育・研究を行います。本講座では、機能性食品の研究開発に携わる栄養学関連分野の高度な専門知識と技能を併せ持ち、豊かな創造力と問題解決能力を兼ね備えた栄養や食のエキスパートとして食品関連企業、教育研究機関や行政機関において先導的に活躍できる人材の育成を目指します。

2 各講座の研究内容等

令和5年度予定

講座	担当教員	研究又は講義内容
基礎栄養学講座	高橋吉孝 教授	1 アラキドン酸の代謝酵素に関する研究 2 エイコサノイドの病態との関連に関する研究
	山本登志子 教授	1 慢性炎症予防を目指した食品機能性に関する研究 2 乳汁中脂質成分の新たな栄養学的意義の解明 3 恒常性維持と病態に關与する生理活性脂質合成系酵素の分子組織化学的研究
	川上貴代 教授	1 肝疾患と脂質栄養に関する研究 2 栄養・健康教育における栄養評価指標の開発に関する研究
	久保田恵 教授	1 骨粗鬆症の遺伝素因と環境因子に関する研究 2 ライフステージ別の給食の特性を活かした食育に関する研究
	入江康至 教授	1 新規癌抑制因子 Amida の機能解析 2 伸展培養刺激モデルを利用した慢性腎疾患 CKD モデルの研究
	首藤恵泉	癌幹細胞を抑制する食品機能成分の作用機序の解明と栄養管理への応用
	*赤木收二 連携大学院 教授	1 サルコペニア発症・進展及び予防に関わる諸因子に関する研究。恒常性維持におよぼす食・各種栄養素摂取の影響に関する研究。 2 恒常性維持に大きく関わる各種栄養素の代謝調節とそれらの破綻の結果である疾病を関連づけながら講義する。
	*方定志 教授	1. The nutritional status and dietary pattern in China, The trends of diet-related diseases in China, Gene-nutrient interactions and their associations With diseases, and Dietary intakes among Chinese and Japanese. 2. The investigations of the interactions in subjects from the disaster area of Wenchuan bearthquake of posttraumatic stress disorder(PTSD), the BDNF genetic variations(Val66Met) and clinical factors.
	*加藤久典 教授	1 栄養や食品成分による遺伝子発現や情報伝達の制御 2 様々な網羅的分子解析を用いた食品の機能性・安全性の研究

講座	担当教員	研究又は講義内容
食品栄養学講座	伊東秀之教授	1 食品素材に含まれる機能性成分の単離及び化学構造研究 2 機能性食品成分の分析法の開発 3 機能性ポリフェノール成分の生体利用性に関する研究
	田中晃一教授	1 新たな特性や機能性を有する微生物の探索・育種開発 2 地域微生物資源を活用した岡山ブランド商品の開発
	山下広美教授	1 骨格筋の機能とエネルギー代謝に関する研究 2 食品中の機能性成分と骨格筋機能、エネルギー代謝、加齢に関する研究 3 加齢に伴う骨格筋の萎縮および生活習慣病の発症を予防する食品中の機能性成分に関する研究
	川上祐生准教授	1 食品成分の作用機構と生活習慣病への応用に向けた研究 2 アラキドン酸カスケードに関する分子生物学的研究
	田淵真愉美准教授	1 特定給食施設における食材料管理と生産・品質管理の向上に関する研究 2 非アルコール性脂肪性肝疾患の栄養療法に関する研究
	綾部誠也教授	1 健康増進・競技力向上のスポーツ栄養 2 スポーツバイオメカニクスと栄養 3 各種運動とエネルギー消費量の研究
	*李奎姫教授	1. Korean traditional foods including fermented soybean pastes, soy sauce, red pepper soy paste and kimchi are introduced with focus on raw materials, fermentation procedure, fermentative microorganisms, nutraceutical functions, industries and culture of them. 2. The investigations on development for industrial microorganisms and enzymes.

(注) 1 担当教員欄中*印は非常勤講師です。

2 非常勤講師の研究又は講義の内容欄は講義内容を記載しています。

Ⅲ 保健福祉学専攻の概要

21世紀の超高齢社会では、人間のライフサイクルを通じて疾病、障害の有無に関わらず、身体的、精神的、社会的に健康で豊かな生活を維持し、生活の質を向上させるための社会システムの設計原理と方法論が求められます。保健福祉学専攻では、健康を基軸とした真の生涯福祉のあり方について研究を推進していきます。そのために、1) 保健福祉領域における、保健・福祉・医療の連携・統合の理論化と保健福祉支援政策の構築、及び障害特性を考慮した社会適応理論の追求、2) 児童、障害者、高齢者のウェルビーイングを達成するための臨床技術、ケアマネジメントの開発・理論化と具体的な実践方法の追求、3) 児童、高齢者、障害者など多様な人々の適応行動に関わる心理的・身体的特性の科学的な分析を基礎にした保健福祉実践につながる理論・方法の追求、4) 保育・幼児教育領域の理論と実践方法の追求といった四つの領域を指向する講座を置き、それぞれの専門性の追求と相互連携によって教育・研究を行います。

1 各講座の概要

(1) 政策科学講座

児童・高齢者・障害者等の保健福祉支援の現状を体系的に分析し、少子・高齢社会の進行及び長寿社会の形成過程から生じてくる様々な問題点に注目します。また、保健福祉・医療の連携による健康維持、疾病や障害に対応したケアシステムの確立等の要請に応えるため、行政機関、施設等が必要とする保健福祉支援政策を理論と実践の両面から探求し、併せて計画立案や評価などを実施するための教育と研究を行います。

(2) 社会福祉支援科学講座

身体的、精神的、社会的な問題を有するクライアントに対する支援活動には、学際的能力と高度の専門知識・技術が求められています。これまでの量的な対応からその質的側面が問われていることを踏まえ、市町村をはじめ、医療機関や障害児・者施設、高齢者施設、児童福祉施設等において必要とされる支援技術の開発と実践に関する教育と研究を行います。

(3) 保健福祉支援科学講座

児童から高齢者まで、ライフサイクルの各ステージに応じた保健福祉的支援のニーズが高まっています。その実現のためには、対象者個々人の生活環境や障害特性を勘案した生活行動の分析力が必要になります。本講座では障害児・者や高齢者の環境適応を促進するための身体と心理機能の客観的評価法を開発するとともに、研究や実践場面においてそれらを実施、展開するための教育と研究を行います。

(4) 子ども臨床講座

少子化及び女性の社会進出等により子どもを取り巻く環境が大きく変化している社会状況のなか、子どもの豊かな人格を育て、身体的、精神的かつ社会的に健全に育成することを視点に、高度な研究・教育に携わることのできる人材および子ども学・幼児教育学等における実践的課題を探求・研究し解決できる専門知識と方法論を修得するための教育と研究を行います。

2 各講座の研究内容等

令和5年度予定

講座	担当教員	研究又は講義内容
政策科学講座	近藤理恵教授	1 子どもの貧困、ひとり親家族、子ども虐待、DV里親、養子縁組、いじめに関する日仏韓国比較に関する研究 2 教育行政と福祉行政の連携に関する研究
	岩満賢次教授	生活困窮者支援における地域づくり（主に若者、災害など）
	喜村仁詞准教授	福祉産業のマネジメントに関する研究
社会福祉支援科学講座	村社卓教授	1 高齢者の孤独予防に関わるソーシャルワークの研究 2 知的障害者の就労支援に関する研究
	竹本与志人教授	1 インボランタリー・クライアントへの受診・受療援助に関する研究 2 保健医療領域のソーシャルワーク実践に関する研究
	中村光教授	1 言語・認知の発達と老化に関する研究 2 神経学的コミュニケーション障害（失語症、高次脳機能障害、認知症）の評価と介入に関する研究
	坂野純子教授	1 精神障害者のLife Skillに関する研究 2 精神保健福祉領域におけるsense of coherence概念の有用性に関する研究
	桐野匡史准教授	1 家族介護者支援に関する研究 2 家族介護者のソーシャル・サポート・システムに関する研究
	大倉高志准教授	1 家族を自殺で亡くした遺族の続柄別（配偶者、親、子供、兄弟姉妹）に求められる支援方法の検討 2 家族を自殺で亡くした遺族に対する地域の関係者の職種・役割に基づいた支援方法の検討

講座	担当教員	研究又は講義内容
保健福祉支援科学講座	高戸仁郎 教授	1 障害者・高齢者の移動支援に関する研究 2 高齢者の介護予防に関する研究
	樂木章子 准教授	1 心理臨床学的諸問題に関するグループ・ダイナミックス研究 2 過疎地域における住民自治に関するアクション・リサーチ
	佐藤ゆかり 准教授	1 在宅高齢者の自立支援、認知症高齢者・家族介護者の支援に関する研究 2 保健福祉専門職のキャリアアップ支援に関する研究
子ども臨床講座	山本孝司 教授	1 幼児教育の思想史的研究 2 幼（保）小接続カリキュラムの理論的研究
	安久津太一 教授	1 乳幼児の音楽的発達とコミュニケーション 2 音楽教育のカリキュラム開発と代替評価
	京林由季子 准教授	1 知的障害者の生涯発達支援に関する研究 2 保育者の養成に関する研究
	池田隆英 准教授	1 保護者・保育者のストレスに関する研究 2 子ども学研究の方法論に関する研究 3 子どもの理解と援助の実践過程に関する研究
	新山順子 准教授	1 子どもの身体表現活動の支援方法に関する研究 2 ダンス・カリキュラムに関する研究 3 ダンスと生涯教育に関する研究
	高橋多美子 教授	1 幼少期における自然との関わり方に関する研究 2 幼児期の環境教育・防災教育に関する研究 3 幼保将連携に関する実践研究
	小畑千晴 准教授	1 親子の心理的連結 (human bond) に関する研究 2 乳幼児の発達とメンタルヘルスに関する研究

<参考>

履修案内・シラバス・教育研究者総覧は本学ウェブサイトにて閲覧可能です。

○履修案内 https://www.oka-pu.ac.jp/guide/guide_detail/index/557.html

【閲覧方法】

HP「岡山県立大学」>大学案内>教育情報の公表>授業科目、授業内容、授業計画に関すること
>履修案内

○シラバス <https://www.oka-pu.ac.jp/syllabus/index.html>

【閲覧方法】

HP「岡山県立大学」>大学案内>シラバス

○教育研究者総覧 <https://gdata.oka-pu.ac.jp/search/index.html?lang=ja&template=template>

【閲覧方法】

HP「岡山県立大学」>大学案内>教育研究者総覧

出願・受験・その他に関するお問い合わせ先

岡山県立大学事務局教学課入試班

〒719-1197 岡山県総社市窪木 1 1 1 番地

TEL 0866-94-9163 (直通)

0866-94-2111 (代表)

ウェブサイト <https://www.oka-pu.ac.jp>

電子メール nyushi@oka-pu.ac.jp